

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2009-150040(P2009-150040A)
 【公開日】平成21年7月9日(2009.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報2009-027
 【出願番号】特願2008-323204(P2008-323204)
 【国際特許分類】

D 0 1 G 15/88 (2006.01)

【F I】

D 0 1 G 15/88

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月18日(2011.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フラットカードまたはローラカードのローラおよびシリンダの少なくとも一方用の鋸歯全鋼の針布であって、細長い脚部領域と該脚部領域に隣接する歯領域とを有し、該歯領域には、歯背部と 2 つの側面を切断することによって、歯前部を有する歯が形成されており、互いに順に配置された 2 つの前記歯の前記歯背部と前記歯前部との間に凹部が設けられ、前記歯は少なくとも 2 つの部分からなり、歯先端の所に位置する第 1 の部分が正の、または少なくとも垂直な作用角を有し、歯先端と、前記第 1 の部分と第 2 の部分との間の移行領域との間の部分が技術的有効領域を形成している針布において、

前記歯前部（5）の前記第 1 の部分（5₁）は前記針布（1）の移動方向（A）に凸であることを特徴とする針布。

【請求項 2】

前記歯前部の前記第 2 の部分は、前記針布の移動方向（A）に凹に湾曲していることを特徴とする、請求項 1 に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 3】

前記第 1 の部分は弓形である、請求項 1 または 2 に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 4】

前記第 1 の部分は前記第 2 の部分へと次第に移行している、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 5】

磨耗によって引き起こされる前記作用角の低下が低減される、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 6】

磨耗によって引き起こされる前記作用角の低下が同一に保たれる、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 7】

磨耗によって引き起こされる前記作用角の低下が拡大される、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 8】

前記作用角の低下、拡大、または保持が、前記針布を鋭くし直した時に有効になる、請

求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の鋸歯全鋼の針布。

【請求項 9】

ローラまたはシリンダ上に取り付けられた鋸歯針布が、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項にしたがって構成されていることを特徴とするフラットカードまたはローラカード。